

# 1 市民を対象とした議会報告会

## テーマによる意見交換での意見・要望等

<p>テーマ I</p>	<p><b>スポーツのまちづくり</b>  <b>～合宿やプロスポーツの誘致、施設整備について～</b></p>
<p>意見交換の テーマ内容</p>	<p>常葉大学跡地にスポーツ合宿施設ができたり、市内に拠点を置くプロサイクリングチームが誕生したり、スポーツ関連の新しい動きが続いています。富士川緑地の整備が進み、総合体育館の建設を控える今、スポーツの可能性を考えてみませんか？</p>
<p>市民の意見等</p>	<p>①市民がもっとスポーツに親しむためには...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼年期からスポーツに親しめるよう、子供たちの誘導に力を入れ、スポーツの底辺を広げる努力が必要。</li> <li>・ 底辺の拡大が必要なので、これからスポーツを始める初心者への配慮が大切。</li> <li>・ 市民にはどのようなスポーツ団体、グループがあるか分からないので、多様なスポーツの紹介窓口が必要。</li> <li>・ 健康寿命を延ばすためには、成人になってからでも無理なく運動を継続できるようなハード面の環境整備をすべき。</li> <li>・ 市民へのアピール（特に武道や団体スポーツ）が不足。オリンピックなどで活躍した富士市関係の方などの力を借りる。</li> <li>・ スポーツのできるフィールドの整備が必要。</li> <li>・ 富士川緑地の一部に、人工芝を検討。</li> <li>・ 校区単位で、公園や学校のグラウンドなどで、気軽な朝のラジオ体操等から始め、これをきっかけに各スポーツを通じた健康の増進につなげる。（ラジオ体操、ランニング、太極拳、ミニバレー、ミニサッカーなど）</li> <li>・ レバンテフジ静岡の選手が分からないので、選手とコミュニケーションを取り、親しんでいけるような取組を。</li> <li>・ 施設の予約を取るのに予約が殺到してなかなか予約ができないので検討を。また、予約場所への距離が遠い。</li> </ul> <p>②スポーツで市外から人を呼び込むためには...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山女子駅伝を活用、「駅伝のまち」として人を呼び込む。</li> <li>・ プロ野球チーム誘致、有名な社会人野球のキャンプ誘致。</li> <li>・ 大きなスポーツ大会には、人が集まるようなイベントを合わせてウェブサイト等で情報発信する。</li> <li>・ レバンテフジ静岡が計画している青葉通りロードレース、富士山ロードレースの実現。</li> <li>・ エスプラットフジスパークと連携し、人を呼び込む。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士川緑地はロケーションもよく、全国に誇れる場所である。しかし、新富士駅からのアクセスが悪いので、改善が必要。</li> <li>・来訪者に対して、宿泊業者と連携していることがウェブサイトですぐに分かるよう、情報検索環境の整備が必要。</li> </ul>
要望・提言等 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士川緑地左岸の整備について、サッカーコート2面の人工芝化、トイレや水飲み場の整備を要望。</li> <li>・富士川緑地グラウンドを人工芝に。</li> <li>・富士球場の照明設備やスコアボードを電光掲示板にしてほしい。</li> <li>・総合運動公園陸上競技場と富士球場の夜間照明整備を早急に。</li> </ul>

テーマⅡ	<p><b>認知症になったら、私の財産、生活は誰が守るの？</b>  <b>～成年後見制度利用促進について～</b></p>
意見交換の テーマ内容	<p>2025年には、認知症患者数が700万人と見込まれています。そのような状況が近づいても、財産や生活を守る仕組みである成年後見制度はあまり知られていません。成年後見制度のことを知って活用について話し合しましょう。</p>
市民の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の説明を一度聞いただけでは理解が難しい。</li> <li>・後見人の立場、権限がよくわからない。</li> <li>・特に、家族の権限との棲み分け・区分がよくわからない</li> <li>・後見人をどこまで信用できるかが不明。</li> <li>・後見制度を知っていても、利用に届いていない人が多いのではないかと。しかし、今後は必要性が高まる制度。</li> <li>・県内で富士市が先進的に取り組んでいるのはすごいと思う。</li> <li>・自分自身は、最後まで認知症にならずに健康で過ごし、兄弟、親戚、子ども達と揉めないように仲良くしていきたい。</li> <li>・認知症等の異変を周囲が気付けるよう、隣近所と良好な人間関係構築が大事。</li> </ul>
要望・提言等 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の中で、子供の時から制度について教える。</li> <li>・後見人等育成に向けたボランティアの人材バンクを作る。</li> <li>・後見センターや地域包括支援センターの連絡先が書かれたステッカーなど、電話の横に貼っておく。</li> <li>・終活の説明会で終活ノートに制度のことを記載し、説明する。</li> <li>・まず多くの人に知ってもらうため、制度に関する寸劇を上演したり、制度を实际利用した人の体験談を聞く機会を設ける。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寸劇の上演や利用者の体験談を聞く会は、町内会や区のサロン、様々な団体（企業、学校等）で開催、ネット（ユーチューブ等）やケーブルテレビ、フェイスブックで流し、より多くの人に知ってもらおう。さらに興味を持ってくれた方に、チラシや説明を渡し、詳しく説明する。（いくら「広報ふじ」に載せても興味がなければ読まない）</li> </ul>
--	---

テーマⅢ	<p><b>“SDGs” 持続可能な未来</b>  <b>～ごみ減量に見る、豊かで美しいまちを守るため～</b></p>
意見交換の テーマ内容	<p>今年、富士市が国から「SDGs 未来都市」に選ばれ、そして、新環境クリーンセンターが稼働を始めた節目の年。ごみ減量を通して、私たちにできる「SDGs」の身近な取組について考えてみませんか？</p>
市民の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティーの希薄化の中で、例えば、ごみ集積場の荒廃現象が見られる。</li> <li>・ ごみ排出に際し、分別意識などモラルの低下・劣化が気になる。これが不法投棄の拡大に通じていると思われる。</li> <li>・ 外国人住民の増えている地区の場合、いかにガイドをうまく行うかということも課題。</li> <li>・ 市が収集する可燃物等に限らず、例えば食品ロスに対する市民意識についても、まだまだ認識不足という気がする。</li> <li>・ 市ごみ処理基本計画の中で、全体の排出量や資源化率など目標と実績に乖離があることの原因を徹底的に分析すべき。</li> <li>・ 一人暮らし高齢者が増加する中で、巡回回収等もあるようだが、毎日のごみ処理をサポートする体制は十分に行き届いているかさらなる配慮が必要。</li> <li>・ ごみステーション巡回や整理は、町内会長が主として担っているが、これが大変なボランティアで、どんどんやり手がなくなる。</li> </ul>
要望・提言等 (まとめ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生ごみ減量を家庭レベルで考える仕掛けを講じていくべき。各家庭、各地域で事情に合致したやり方、手法があるはずで、無理なく持続することが大切。</li> <li>・ まちのごみの現況に対する認識を深めるために教育が不可欠。子ども会などによる新環境クリーンセンターの見学、体験をどんどん実施すべき。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一斉の「ごみ拾いの日」を設けてはどうか。条例化するのも一つの方法。</li> <li>・町内会のイベント等を通じ、ごみの減量意識、排出モラルの向上について、取り上げてほしい。住民同士のコミュニケーションの場で広げることで、持続可能性に具体的に目が向くようになり、また、異なる世代間の交流も深まる。</li> <li>・一人暮らしのみならず、高齢者世帯に対するごみ巡回回収はもっと実施すべき。</li> <li>・ごみ排出のガイドの手法として、展示や、DVDなど、様々なツールがあるので幅広く活用して、誰一人取り残さない体制を築いてほしい。</li> <li>・市民団体には、楽しみながら、へチマを栽培し、たわしを手作りし、使っているところがある。こうした具体的な努力を楽しんでできればよい。</li> <li>・資源化率についても、資源化による具体的な利益について、数値化、見える化すべき。</li> </ul>
--	--

テーマⅣ	<b>富士市にふさわしい顔づくりとは？</b> <b>～富士駅・新富士駅・吉原中央駅周辺の再開発について～</b>
意見交換の テーマ内容	<p>現在進められているそれぞれの駅周辺の再開発事業などのさまざまな事業は、富士市の「顔」としてふさわしい計画となっているのか、また、市が目指す「コンパクトシティ」を視野に入れた計画は、富士市の「顔」づくりに寄与するのか、考えてみましょう。</p>
市民の意見等	<p>①富士駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心的な核となる店・施設がない。商店街の再編。</li> <li>・北口は居酒屋が中心となっている。</li> <li>・北口から富士山が見えない。</li> <li>・駐車場が少なく、わかりにくい。</li> <li>・北口方面は旧東海道や歴史のある寺や神社があるが、それらが観光や文化の承継のために活かされていない。</li> </ul> <p>②新富士駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理の中で、地区に対する開発への説明不足。</li> <li>・商業ビル・オフィスビルはないに等しく、核になる施設がない。</li> <li>・駅前に首都圏通勤者用のマンションがない。</li> <li>・ホームに富士山のPRが少ない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺道路が通勤時間帯に交通渋滞となっている。</li> <li>・駅構内が寂しい。生き生きとした案内所がほしい。</li> <li>・コンサルや有識者だけでなく、地元のまちづくりや開発について提案できる人物を入れる必要あり。</li> </ul> <p>③吉原中央駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗が多く、活気なく見える。</li> <li>・車中心の都市になっているということだが、車→公共交通→車のような動線が全くできていない。</li> <li>・居酒屋が目立つ。昼の顔を作らなければならない。</li> <li>・部分的な街区では活性化につながらない。</li> </ul> <p>④全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士市の顔、ビジョンが見えない。富士・吉原・鷹岡・旧富士川町、各々の拠点バラバラ。</li> <li>・特別用途地区制度（3000㎡以上の集客施設の立地を認めない）は富士市の発展の妨げになっている。</li> </ul>
<p>要望・提言等 (まとめ)</p>	<p>①富士駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地への交通網が整備されておらず、他市から来た方に行き方マップがほしい。</li> <li>・バス停マップの整った便利な交通網の整備や駐車場の整備</li> <li>・富士駅周辺に大学等、高等教育機関・研究所の誘致</li> <li>・チャリツアアの企画、駐輪場・自転車道の整備</li> <li>・水の広場を作る。富士市の特産・お茶などの店を置く</li> <li>・富士山の眺望を生かす。</li> <li>・北口には旧東海道や歴史ある寺や神社があるので、観光や文化の承継のために生かす。</li> <li>・核になる集合ビルを建てる</li> </ul> <p>②新富士駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理の中で各区画の用途と目的をはっきりさせ、戦略的に事業を進めるべき。</li> <li>・開発完成後のイメージ図を。</li> <li>・美術館をつくる。</li> <li>・大規模なタワーマンション（富士山眺望を生かす。）</li> <li>・中央病院等、医療施設を配置する。</li> <li>・商業ビルとオフィスビルを誘致する。</li> <li>・富士駅との交通を確保する。DMV復活。</li> <li>・eCOM-8の導入。（自動運転）</li> <li>・ふじさんめっせを活用したイベントの工夫。</li> </ul>

③吉原中央駅

- ・ 岳南鉄道をもっと活用して交通網の整備を行う。
- ・ コミュニティロードの確立。あえて目的のない歩道（フライブルク市）
- ・ 小さな店を統合して共同ビル、あるいはすべて住宅街にする。
- ・ 医療機関、大学、専門学校等、若者の集まる施設を誘致。
- ・ シンボルとなる施設を入れ、再開発。

④全体

- ・ マンションを建てても魅力が出るわけではない。人が集まる根本的な計画に変更した方がよい。
- ・ 商店街の機能の明確化、ターゲットの明確化。（東京都世田谷区下北沢のボーナスストラック）
- ・ 思い切った公共交通。（ライトレール等）
- ・ コンパクトシティと駅の関係性、役割を明確にする。
- ・ 再開発に当たって、どんな人を誘導し、どうやって、どんなイメージで活気あふれるようにするのか、具体的にすべき。

## 2 市立高校生を対象とした議会報告会

### 事業評価対象事業に対する生徒からの改善提案・意見等

<p>テーマ</p>	<p>1 広報ふじ作成費 2 ブランドメッセージ推進事業費 3 社会福祉センター運営費</p>
<p>対象事業の 選定について</p>	<p>令和元年度決算事業評価対象事業（3事業）について、生徒に事前に内容を提示した上で、高校生の視点からの改善提案や意見を聞く。</p>
<p>生徒の 提案や意見等</p>	<p>1 広報ふじ作成費</p> <p><u>課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会に加入している若者が見ようと思ってない。</li> <li>・あることも知らなかった。</li> <li>・紙を見ない方が多い。</li> </ul> <p><u>改善提案</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報を楽しみにしてもらえる企画として、クロスワードパズルなどを掲載、応募してもらって、当選者にはクオカードなどを贈呈。（群馬県の広報誌の事例を紹介）</li> <li>・新しいお店の紹介、カフェなど若い人（特に、女性）が行きたくなる、興味を持つところの内容を掲載。</li> <li>・配布が難しいことから、My Doを配布しているリックとコラボして広報も一緒に配布してもらう。</li> <li>・カフェ、飲食店において頂くため、クーポンや店のQRコードなど掲載し、幅広く見て頂く。</li> <li>・表紙に地元で活躍している若い方々、団体などの写真を掲載し「何だろう!？」と興味をひくようにする。</li> <li>・表紙をおしゃれに。</li> <li>・SNS・携帯で見やすく、見たくなる内容で作成。</li> <li>・アプリを使用する。利点は、文字が大きくも小さくもできる。コピーが簡単。興味あるものを保存できる。</li> <li>・若い子たちの関心ある記事（ゲームの攻略など）</li> <li>・紙媒体から少しずつインターネットに誘導する工夫を。</li> </ul> <p>2 ブランドメッセージ推進事業費</p> <p><u>課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点は、知度が低いこと（5人中1人しか知らなかった）、内容がよくわからないところ、夢を持っている人がたくさんいるのに生かせず、もったいない。</li> <li>・青春市民の取り組み紹介も、活動していることを、ただ紹介しているだけで、もの足りない。</li> </ul>

- ・せっかく、市民が夢を語り、市にこんなことをしてほしいと訴えかけているのに、何もしていない。
- ・チラシの表紙が何のチラシかわからない。
- ・浸透させるには時間がかかる。
- ・「いただきへの、はじまり 富士市」には深い意味がありいいと思うが、伝わりにくい。

#### 改善提案

- ・富士市とコラボ、または、場所や機会の提供さえしてくれたら叶う夢も多い。
- ・大きな夢だけでなく、小さな夢もたくさんある。そこを「富士市なら叶う！」とプロデュースしたらどうか。
- ・夢を叶える企画をプロモーションビデオで動画配信。
- ・イベントとして、どの夢を採用するか、プレゼン合戦をやってもらい、そのイベントから動画配信していく。
- ・夢を叶えられるチャンスがもらえる市として、「いただきへの、はじまり 富士市」というブランドメッセージを分かりやすく実際の企画とともに紹介するのが良いと思う。
- ・ブランドメッセージを分かりやすく紹介してほしい。
- ・パンフレットの表紙をわかりやすくする。
- ・イベント参加で「いただきへの、はじまり 富士市」のボディコピーが分かるので、参加する人がふえる工夫を。
- ・富士川楽座が有名で、人が多く集まるので利用する。
- ・テレビ等CM、ツイッターやインスタグラムを活用。
- ・検索で「富士市」でしか出ないので、ヒットワードを増やす。
- ・トイレットペーパーにプリントする。
- ・岳南電車（PRラッピング）・しらす・工場夜景・つけナポリタン・茶などに関連付けて面白さを発信する。
- ・「いただきへの、はじまり 富士市」の看板設置。

### 3 社会福祉センター運営費（存続する場合）

#### 課題

- ・現状、高齢者の利用は高いが、一部の利用者で新規がほとんどない。子どもや障がい者・児童の利用は一部のセンターのみで他ではほぼない。
- ・要綱を見ると中高生が使えないのが疑問。
- ・午後4時に終わってしまうので、機能がもったいない。
- ・何歳から、誰が使えるのか周知が足りない。
- ・家族も含め、社会福祉センターを利用したことがなく、今一つイメージできない。



### 改善提案

- ・新規利用者を増やし子どもの参加を増やすために、イベントを増やしたい。
- ・子どもがいると活気が出るので、利用を増やすために、まちづくりセンターや子ども会、学校などの活用を。
- ・子どもがイベント参加や来館した際に、ポイントを付与して、貯まり具合で景品(お菓子など)をあげる。
- ・お知らせチラシを学校や地域に配ったり、広報に掲載してもらう。割引券などを配布する。
- ・高齢者と子どもが交流できるイベント(子どもの参加可能なカラオケ大会、高齢者が郷土料理(サイダーかんやピーナツなます等)や昔遊びを教えるイベント、子ども向け映画上映会)
- ・高齢者アイドルをプロデュースし、活動してもらう。名称は「NANA-girls」。(沖縄県竹富町小浜島のおばあちゃんグループ「KBG84」を参考)
- ・自分たち(高校生)がプロデュース。
- ・バザーを年2回行い、収益は活動の基金にする。
- ・図書館もまちセンも利用時間が短いので、高校生が勉強できるように使わせてほしい。
- ・ゴールボール・バブルボールなどできるようにして、修繕費を集める。
- ・お菓子屋さんなど興味を持てる店を出す。